



News Release

アフアンの森支援で森の再生を通じて“地球環境を守る”
エルセラーンのSDGsに新たなページ

2020.10.21

エルセラーン化粧品(株)

発展途上国での学校無償建設など、国際ボランティアを通じて国連が提唱するSDGs（持続可能な開発目標）を推進しているエルセラーン化粧品株式会社（本社・大阪市、糸谷沙恵子社長）は10月26日、長野県・黒姫で里山の再生に取り組んでいる一般財団法人C. W. ニコル・アフアンの森財団（森田いづみ理事長）とオフィシャルスポンサー契約を結び、新たなボランティア活動を始めます。生物多様性の視点から地球環境を守るだけでなく、次代を担う子どもたちの成長を促す学びの場としての活用方法なども模索していきます。

■スポンサー契約調印式の日程■

【日時】2020年10月26日（月）午後1時から

【場所】アフアンの森（長野県上水内郡信濃町大井 2742-2041）

【参加者】エルセラーン化粧品：糸谷沙恵子 アフアンの森財団：森田いづみ

※調印式後、メディア取材をお受けできます。

【アフアンの森】英国ウェールズ生まれの作家で環境保護活動家のニコルさん（今年4月逝去）が「日本本来の美しい自然環境を取り戻したい」との思いで1986年から黒姫に放置された里山を自ら買い取り、森づくりを始めたものです。アフアン（afan）はケルトの言葉で「風が通るところ（谷）」という意味で、石炭採掘ではげ山になったウェールズの場所を見事に森へと再生した「アフアン森林公園」に倣って名づけています。

面積は30ヘクタールを超え、東京ドーム7個分強に広がり、コナラやハルニレ、オニグルミなどの木々の中でフクロウやタヌキ、ムササビ、ツキノワグマなどが暮らすまでに森がよみがえっています。

【エルセラーン化粧品】1981年の創業当初から「国際ボランティア」「地球環境を守る」ことを理念とし、お肌や環境への悪影響が少ない天然系原料にこだわった商品づくりを心掛けてきました。2008年からは教育自立支援に力を注ぎ、10の途上国に187の学校を無償で建設してきました。また、東日本大震災や豪雨、台風など大きな災害が起きた際には義援金を募り、被災者にお届けしてきました。

今回、森の再生に取り組むアフアンの森財団を支援することで「地球環境を守る」という理念をより強く推し進めます。さらに将来的には森がもつ“癒しの効果”を活用した展開方法を検討していきます。

この情報のお問い合わせ・取材は下記までお願いいたします。

エルセラーン化粧品広報部 辻野

電話06-6367-0705

Email: tsujino@elsereine.jp

HP <https://elsereine.jp/>